

5年社会科学習指導略案

指導者 洋野町立林郷小学校

永瀬 康知

日時 平成30年2月2日(金)

児童 男子4名 女子1名 計5名

1 単元名 これからの食糧生産

2 本時の目標

- ・日本のカカオ豆の輸入相手国では、児童労働の実態があることをとらえさせる。
- ・フェアトレードの仕組みを知り、これからの買い物の仕方や食料の選び方について考えさせる。

主な学習活動	指導上の留意点(評価◎)	主な資料等
<p>1 チョコレートについて、原料やその原産国について知っていることを出し合う。</p> <p>2 フェアトレード製品のチョコレートと普通のチョコレートを食べしてみる。</p> <p>3 カカオ農園で自分たちと年齢が変わらない子ども達が働いている写真を見る。</p> <p>4 学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">どんな食べ物の選び方をすればよいか考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・チョコレートの原料が、カカオ豆であることをおさえる。 ・どちらの製品も味などの品質に違いが無いが、一方にフェアトレードのマークが入っていることに気付かせる。 ・自分たちが食べているチョコレートのカカオ豆が、過酷な児童労働によって生産された物だったら、どんな気持ちになるかを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2種類のチョコレート ・カカオ農園の写真
<p>3 日本のカカオ豆の自給率と輸入相手国を調べる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">カカオ豆の輸入先</p> <p>1位 ガーナ 70.8%</p> <p>2位 コートジボワール 8.5%</p> <p>3位 ベネズエラ 7.1%</p> <p>4位 エクアドル 7.1%</p> <p>5位 ドミニカ共和国 2.1%</p> </div> <p>4 カカオ農園で行われている児童労働の実態を調べる。</p> <p>5 フェアトレードについて知る。</p> <p>6 これからどのような食べ物の選び方をすればよいか考え、話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のカカオ豆が100%輸入に頼っていることと、その7割がガーナであることに気付かせる。 ・カカオ農園で働いている子ども達の年齢や労働時間などをとらえさせる。 <p>◎児童労働の実態や課題を捉えている。</p> <p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童労働の排除など、フェアトレードが目指していることをとらえさせる。 ・生産者と消費者のどちらのことも考えるよう助言する。 <p>◎フェアトレードが目指していることを意識した選び方をしているか。【思】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のカカオ豆の輸入先の割合を示す円グラフ ・ACEのHP ・フェアトレードジャパンのHP
<p>7 学習して考えたことをノートにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カカオ農園の児童労働の実態やフェアトレードのことを知る前と考えがどのように変わったかをまとめさせる。 	